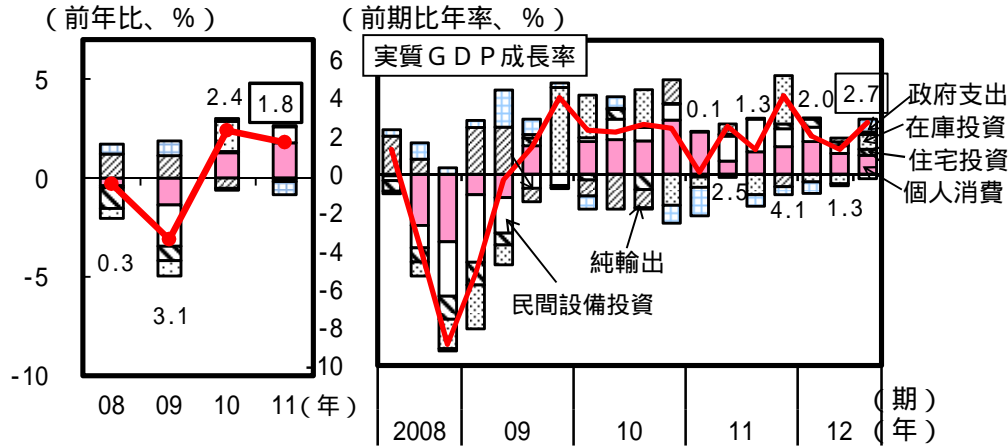


1. アメリカ

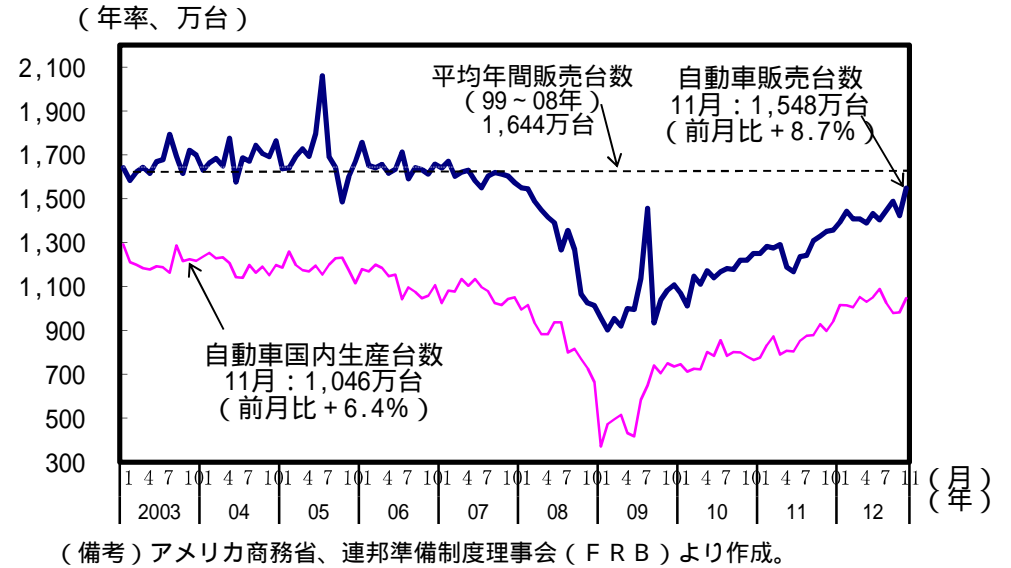
アメリカでは、景気は弱めの回復テンポが続いているが、このところ底堅さもみられる。

実質GDP成長率（2次推計値）
2012年7～9月期は前期比年率2.7%成長

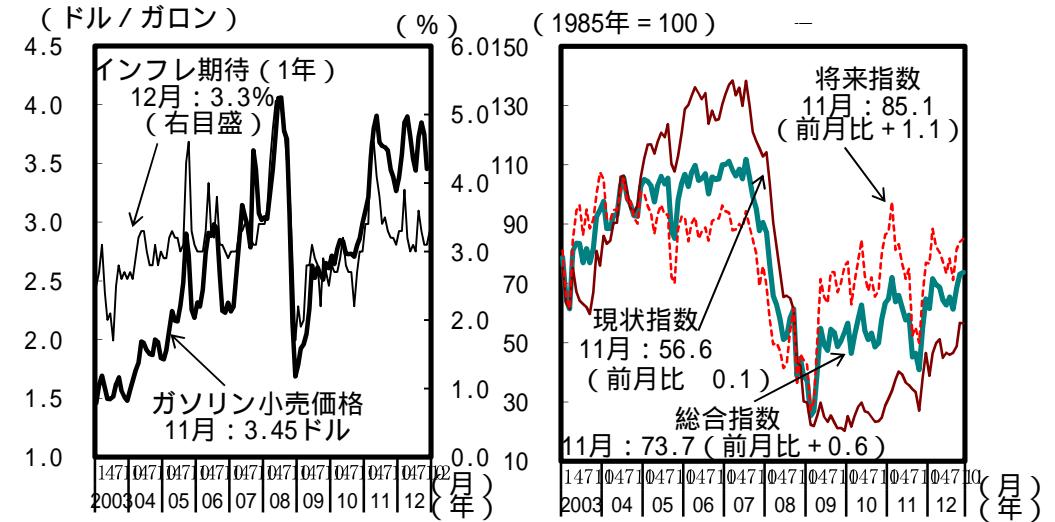


(備考) 1. アメリカ商務省より作成。
2. 2012年7～9月期の寄与度(%)は以下のとおり。個人消費：1.0、民間設備投資：0.2、住宅投資：0.3、在庫投資：0.8、政府支出：0.7、純輸出：0.1。

自動車販売台数はこのところ増加

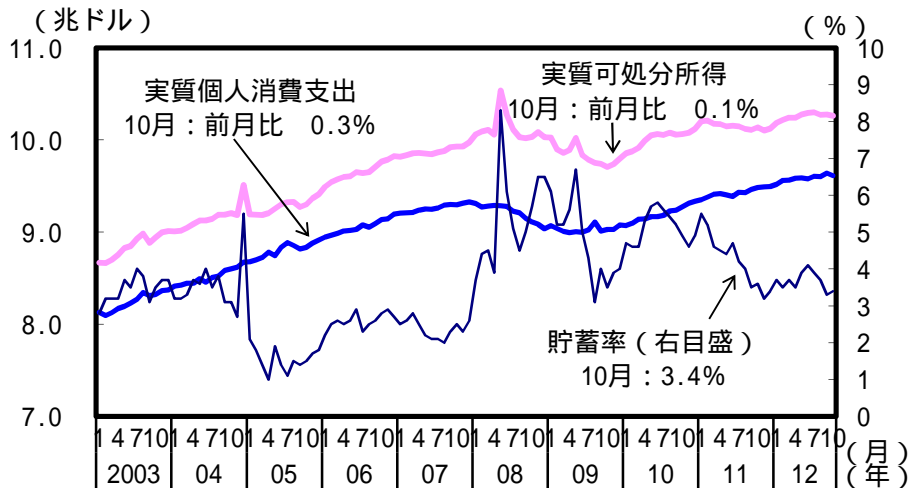


消費者信頼感指数は持ち直し



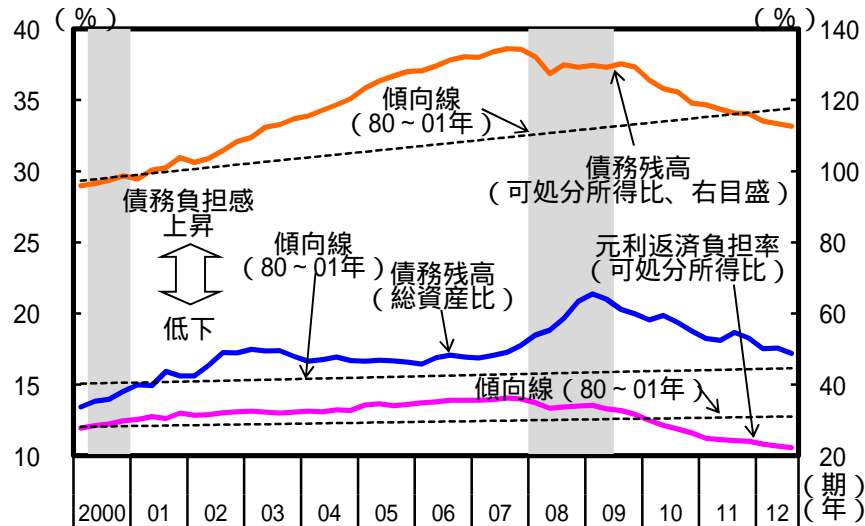
(備考) 1. コンファレンス・ボード、アメリカ・エネルギー省、ミシガン大学より作成。
2. 将来指数は6か月後の見通し。ガソリン小売価格は月平均価格。インフレ期待は、今後1年後における物価上昇率予測回答の中央値。

消費は緩やかに持ち直し



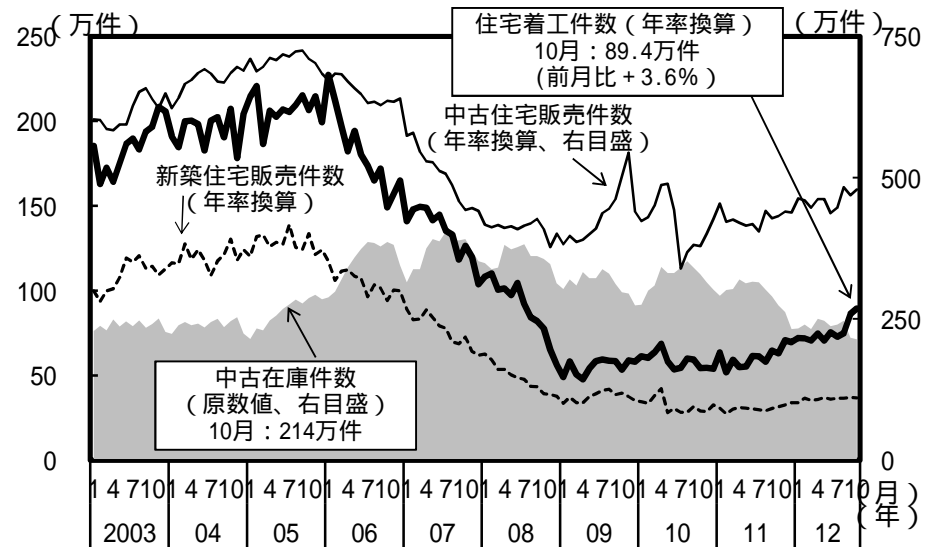
(備考) アメリカ商務省より作成。

家計のバランスシート調整は継続



- (備考) 1. アメリカ商務省、連邦準備制度理事会 (FRB) より作成。
 2. 網掛け部分は景気後退期を指す。
 3. 「元利返済負担」は、住宅ローン及び消費者ローンの返済負担を示す。

住宅着工は低水準にあるものの、持ち直し

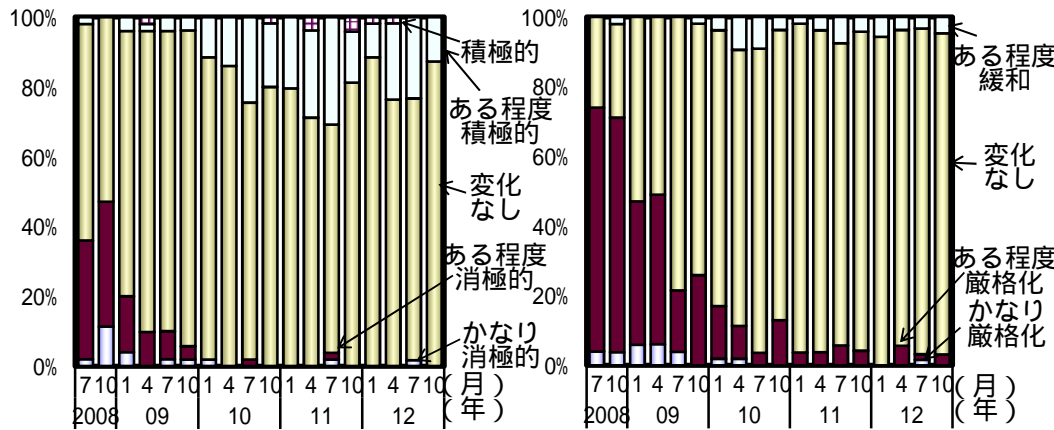


- (備考) 1. アメリカ商務省、全米不動産業者協会 (NAR) より作成。
 2. 12年10月の販売件数に対する中古在庫の割合は5.4ヵ月分、コアロジックが公表する市場にでていない潜在的な在庫(7月末)は5.7ヵ月分に相当。

金融機関の消費者向けローンに対する貸出態度はやや緩和

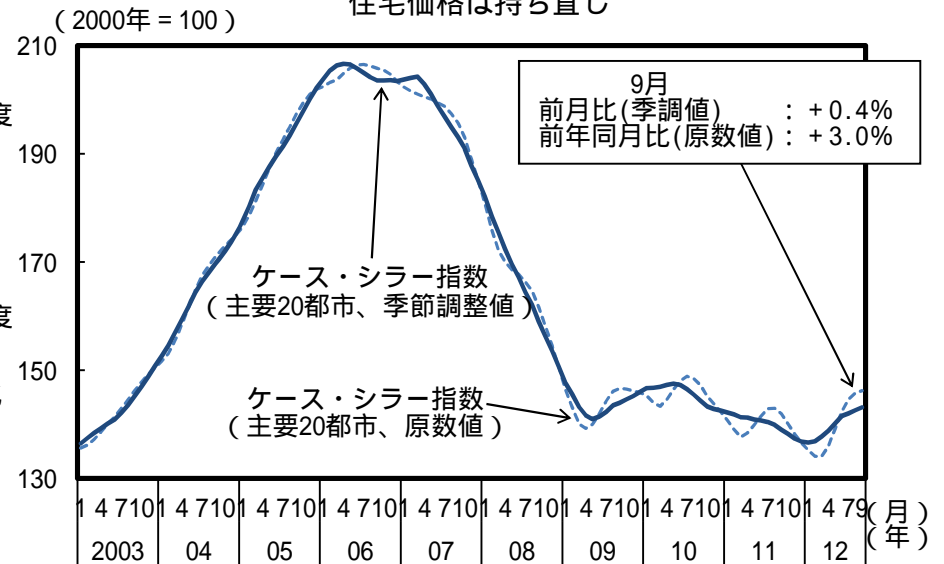
(1) 消費者向けローン

(2) 住宅ローン(プライム)



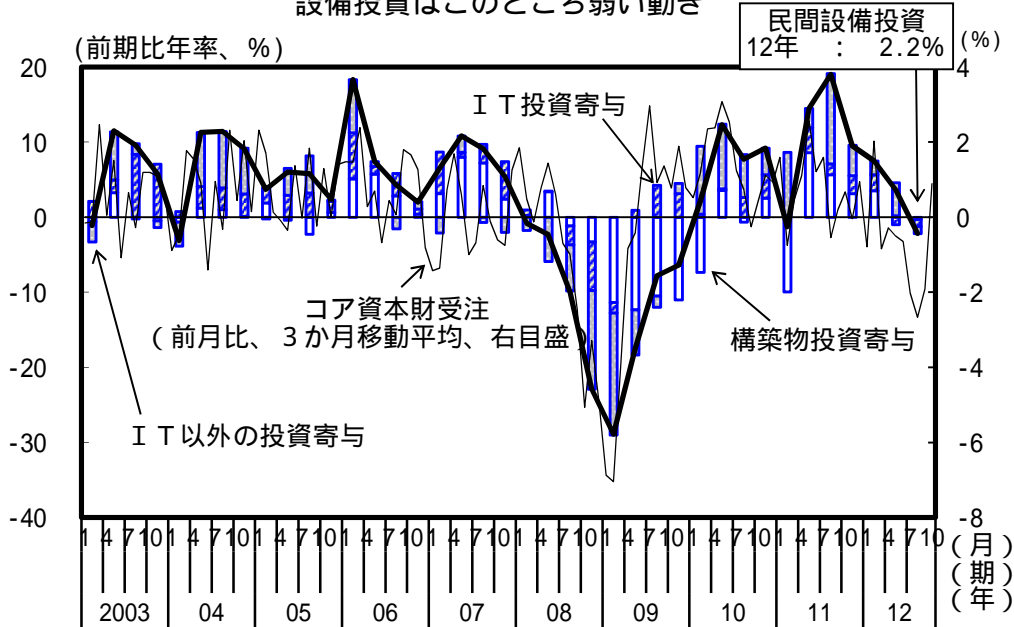
- (備考) 1. 連邦準備制度理事会 (FRB) より作成。
 2. 金融機関に対し、(1) 過去3ヵ月間で消費者向けローンに対する貸出態度をどのように変化させたか、(2) 住宅ローン(プライム)の申請に対する貸出基準をどのように変化させたか、それぞれアンケート調査を行ったもの。
 3. 消費者向けローンは住宅ローンを含まない。

住宅価格は持ち直し



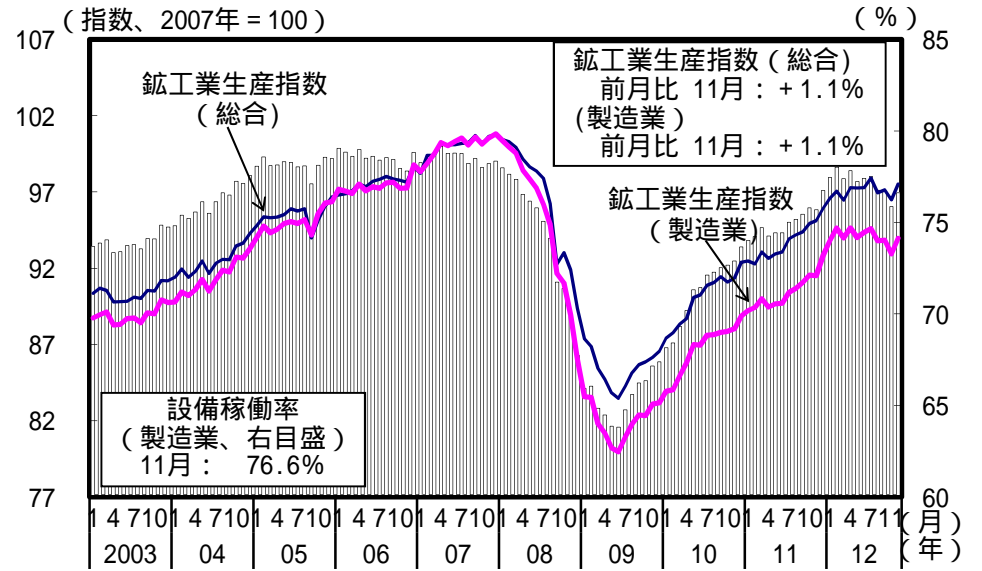
- (備考) スタンダード・アンド・プアーズより作成。

設備投資はこのところ弱い動き



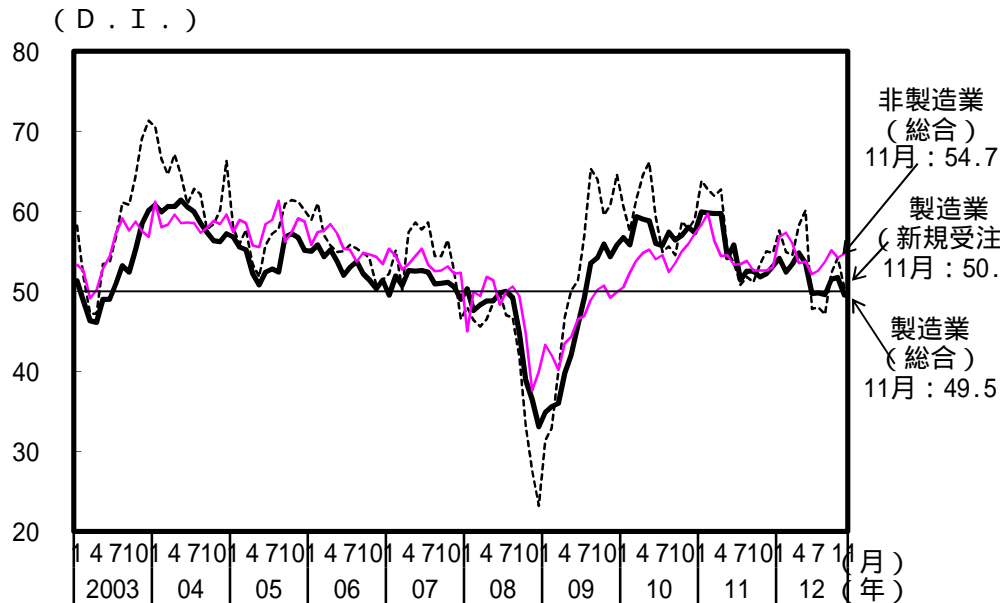
(備考) アメリカ商務省より作成。

生産はおおむね横ばい



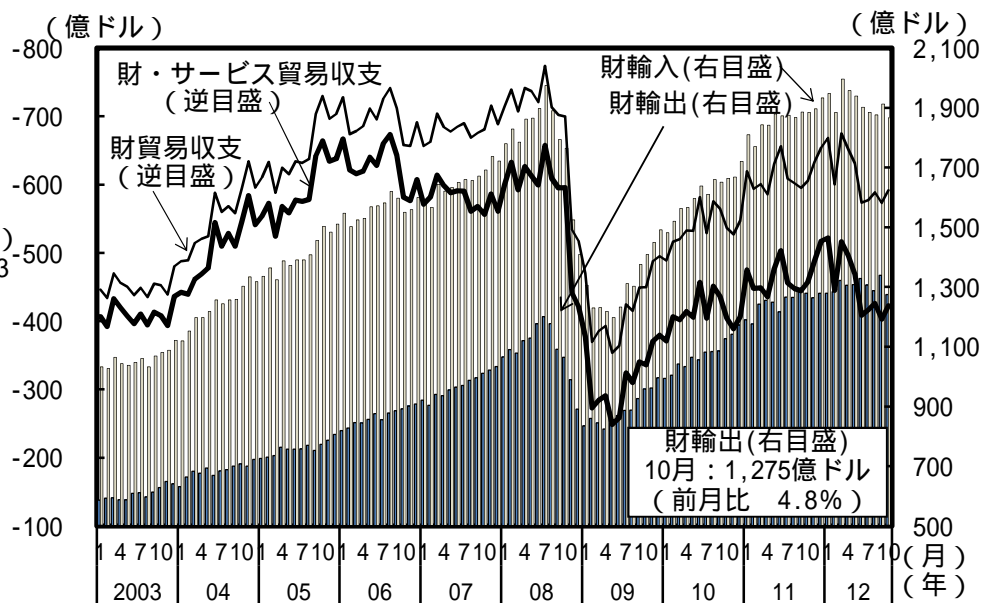
(備考) 連邦準備制度理事会 (F R B) より作成。

景況指数はおおむね横ばい



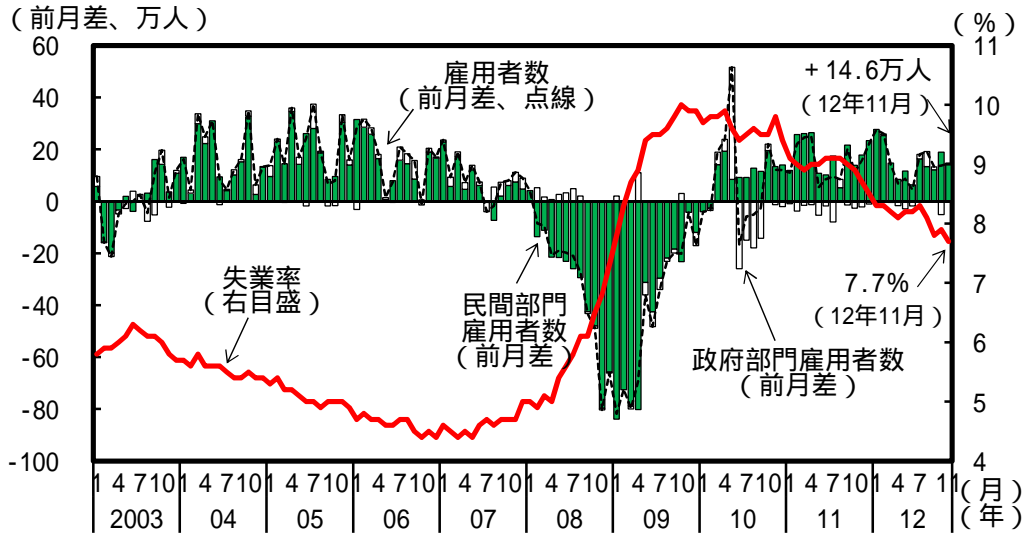
(備考) 全米供給管理協会 (I S M) より作成。

財輸出はおおむね横ばい



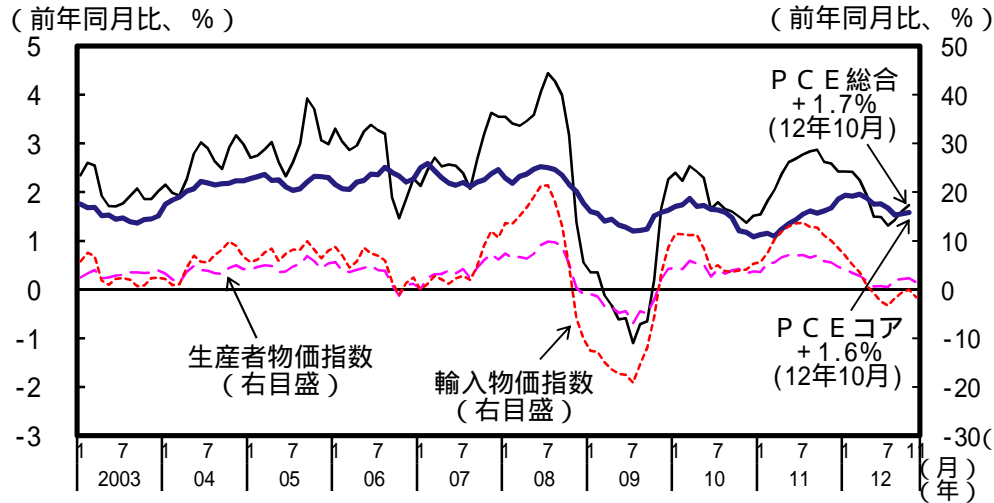
(備考) アメリカ商務省より作成。

雇用者数は増加しており、失業率は低下傾向



(備考) 1. アメリカ労働省より作成。雇用者数は非農業部門。
 2. 2008～09年の雇用者数の増減は 866.3万人、10年以降の雇用者数の増減は +453.3万人。

コア物価上昇率は安定



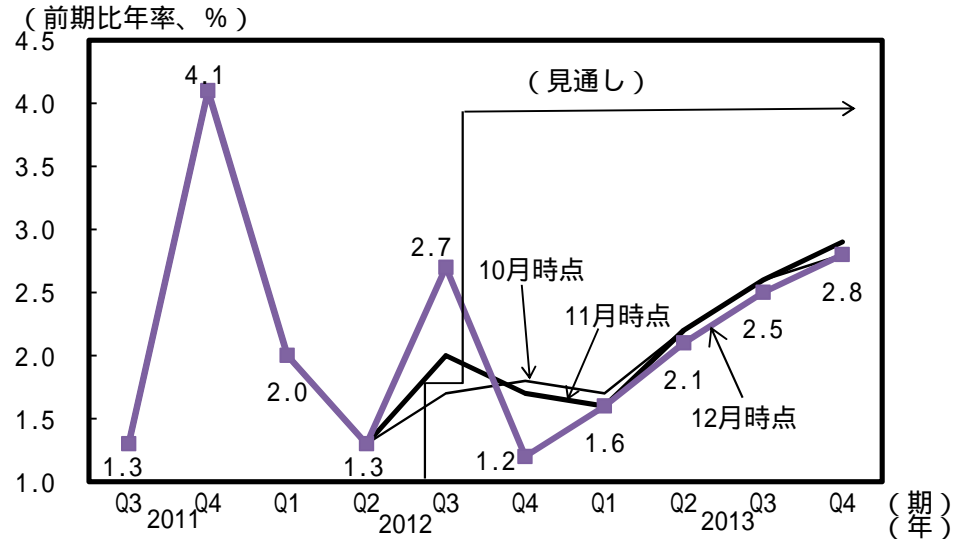
(備考) 1. アメリカ労働省、商務省より作成。
 2. コア指数は、総合指数からエネルギーと食品を除いた指数である。

主要機関等による実質経済成長率の見通し

		(前年比、%)	
		12年	13年
ブルーチップ (民間見通し平均) (12年12月10日)	上位10社	2.3 (2.2)	2.4 (2.4)
	平均	2.2 (2.2)	1.9 (2.0)
	下位10社	2.2 (2.1)	1.4 (1.5)

		(前年比、%)	
		12年	13年
OECD (12年11月27日)		2.2	2.0
IMF (12年10月9日)		2.2	2.1
行政管理予算局 (OMB) (12年7月27日)		2.3	2.7
議会予算局 (CBO) (12年8月22日)		2.1	0.3
連邦公開市場委員会 (FOMC) (12年12月12日)		1.7～1.8 (10～12月期の前年同期比)	2.3～3.0 (同左)

ブルーチップ 12月



(備考) 1. ブルーチップ・インディケータ (12年12月10号、11月10日号、10月10日号)、OECD “Economic Outlook 92” (12年11月27日)、IMF “World Economic Outlook” (12年10月9日)、アメリカ行政管理予算局 (12年7月27日)、アメリカ議会予算局 (12年8月22日)、連邦公開市場委員会 (12年12月12日) より作成。
 2. ブルーチップのカッコ内は、12年11月10日時点の見通し。